

例会報告

第2657回例会報告議事録

日時 令和3年12月14日（火曜日）

場所 ハート柏迎賓館

時間 12:15点鐘

ロータリーソング「我らの生業」

ゲスト：アートソムリエ 山本冬彦 様

ビジター：なし

S.A.A.：石原会員

会長挨拶

依田会長



ロータリー研究会記念講演にウェブにて参加して参りました。ウェブ上でシェカール・メータ会長のご挨拶もお聞きしました。

講演は京都大学出身の青山学院大学の教授、生物学者の福岡伸一先生という方による「ポストコロナの生命学」というお話でした。コロナ禍の中で生命を細胞分子レベルまで落として考えてきた先生です。生命は機械ではなく流れであるとのこと。中身も非常に面白く、YouTube等で見られるようになっておりますので、ロータリーメールでアドレスをお流しします。

福岡先生は絵が趣味でフェルメールの模造を集めて有名にもなられた方です。半分は絵の話でした。絵の話も大変おもしろかったです。

真実かどうか、という話をしたいと思います。

最近うちの息子が就活を行なっているのですが、ZOOMで面談をしているとのことでした。1日30社と面談をして、8組の会社とマッチングし、後日、実際に面接に行ってきました。最終的に1社とマッチングが合ったのですが、今すぐ決めてくれと言われました。もう少し時間をくださいと話したのですが今すぐ決めて欲しいと言われ、結局お断りました。

その就職エージェントなのですが、松戸の職安の手配かと思っていたら、息子が独自に就職エージェントに申し込んだものでした。よくよく聞くと、営業的な部分があり、ZOOMで面談したり、面接をしたり、就職が決まるとエージェント側にお金が入る、という仕組みになっていたようでした。

ネットの世界でもアマゾンの偽メールは私もちょっと騙されそうになりましたが、私の仕事でいうと火災保険の不正請求も非常に多いです。本当の事ってどこにあるのかなとすごく考えています。

ネットの世界は情報が非常に多いですが、目利きではありませんが、その情報を正確に判断する力が今からは求められるのかなと思います。

ロータリーは信頼のおける仲間が集まった団体です。ロータリーの人なら信頼を持って頼めるところがこの団体のいいところかなと思います。今後も信頼のおける仲間、信頼のおける会というのをぜひ作っていききたいと思います。

親睦委員会報告

上村英生委員長



来年1月の新年会に向けて着々と準備を進めております。

詳細は後日ご案内いたします。

出席委員会報告

三枝会員（代理）



23名（出席免除者含む）出席（全員で32名）出席率71.87%

業務による欠席：荒井会員、梶会員、倉持会員、斎藤会員、関根会員、

福武会員、前田会員、湯下会員、米田会員

ZOOMによる出席：小野会員、古谷野会員、塩毛会員

地区委員会報告

藤本委員長



先週の土曜日にアパリゾートで地区の委員長会議が行われました。報告することは特にございません。今週の16日は財団セミナーにオンラインで出席します。

幹事報告

柳田幹事

- ・本日は特にございません。

卓話

アートソムリエ 山本冬彦様



市川から参りました。我孫子は市川同様に文人文化人が住んでいらっしゃる町だと思います。

最初に5分程、10年くらい前のものですが、私の活動を放送したものがありますので、ちょっとご覧になっていただいてから話に入りたいと思います。

(30年に渡って絵のコレクションを続けてきた山本さんの、気軽に絵を買う楽しさを多くの人に知ってもらう活動を紹介した放送を上映。

大手保険会社に勤めながら30年かけて山本さんが集められた1300点程の作品の中の、主な作品161点の展示会の様子。

山本さんが29歳の時に初めて買った絵画である日本画家、石踊紘一さんの絵の紹介。

山本さんが一昨年買われた菅亮平さんの絵の紹介と菅亮平さんのインタビュー。

山本さんが企画しているギャラリーツアーの紹介。サラリーマンや学生17人が参加。ツアーに参加されたサラリーマンの方の紹介。

ちょっとブランド物や旅行に行くくらいのお金でアートが買えることを知ってもらいたい、アートをかう人、画廊を回る人が増えてほしいと山本さん。)

これはNHKの朝のニュースの中で放映されたものです。10年以上前の話になります。

最初に絵を買ったきっかけは、29歳の時に転職をして前の会社の寮を追い出されマンションに引っ越したことです。その壁が空いていたので何か絵を飾りたいと思いました。会社が日本橋だったので、銀座にたくさんの画廊があることは知っていたのですが、どこに行ったらいいのかわからないし、迷っていました。画廊は敷居が高いし、絵も高いと思っていたので入ったことはありませんでした。でも絵は1点欲しいと思い、高島屋デパートの美術画廊に行ってみました。が、デパートで扱う絵は高く無理だなと思いました。高島屋デパートの前に丸善があり、丸善の3階にミュージアムショップのようなコーナーがあり、名画の複製などがあったのですが、名画だと複製でも数万円もするので、無名でもいいから本物の絵を買いたいと思いました。

たまたま歩いていたら銀座にセントラル美術館という場所があり、東西の美大の交流展をやっていたので入ってみたところ、そこは画廊でした。その当時、絵には値段が書いていなかったの、聞いて見たところ気に入った絵は12万円でした。ちょうどオイルショックが終わった直後で、画廊のスタッフの人も必死で月賦でいいと言ってきて、毎月1万円をその画廊に払いに行きました。そうするうちに画廊を見るようになりました。

家の壁に絵をかけると、存在感がすごくあるし、仕事から帰ってくると充実感を感じることができました。

それから画廊廻りが始まるのですが、当時、土曜は半ドンだったので、土曜の午後は銀座や京橋の画廊をふらふら廻り、それが趣味になりました。好きなものに出会ったら買うという感じで、10年程たったら100点近くになっていました。

画廊廻りをしていると意外とサラリーマンで絵を集めている人がいるということがわかりました。ただ、自分の好きなジャンルのコレクターとは友達になるのですが、他のジャンルが好きな人は知らない、という状態だったのでもったいないと思い、サラリーマンのコレクターの会を作りました。

その中に私美術館の会というのがあります。リタイアした時などに自分の家を自分のコレクションの美術館にするグループです。柏には柏私美術館というのがあり、そこにはよく来ていました。そんな感じで次の10年間はコレクターの会を作っていました。

(次ページへ続く)

最初のセントラル美術館で声をかけてくれたスタッフの方が独立して銀座に画廊を作りました。その方が私のマンションに来て、管理ルームで展示会をやりませんかとおっしゃったりして、初めて個人のコレクション展をやりました。サラリーマンでも絵を集める人がいるということで話題になりました。

画廊には貸し画廊と企画画廊があります。企画画廊というのはその画廊さんがこれはという作家を育てるために自分でリスクを負って企画をして作家さんはお金を払わなくていい画廊です。若い人や無名の人は貸し画廊を借りて作品を発表します。

そういう実態を知って、そういう若い作家さんたちを応援したいと思い、最近の10年はそういうことを意識して活動しています。

佐藤美術館というところで自分のコレクション展をやることができました。それと前後して「週末はギャラリーめぐり」という本を出しました。

若い作家の方は苦労して貸し画廊を借りてやっているのですが、作品を買ってあげることが一番の応援になりますが、懇意な画廊さんから山本さんがプロデュースして若い作家の方たちの展示会をやってくださいと依頼を受けるようになりました。僕の企画ですので、作家さんはただで展示できます。それで売れたら作家さんも画廊さんも収入になります。今は東京と京都、金沢でも頼まれていて、年間十数回、若い人の展示会をやっています。東京アクトという所での日本画展を来年の1月に行い、銀座中央ギャラリーでもやります。

私はアートのコレクターですがリタイヤしたので隠居コレクターと言っています。アートソムリエというのは、たとえば家を新築したので絵を買いたいなと思った時にどうしていいかわからないというような方を応援したいと思ったからです。

普通の方が画廊に行くと当然勧められるのですが、素人でわからないのでついつい高いものを買ってしまったりします。僕はいろんなものを見て来ているので、絵を買いたいと思った方に、どんな絵が好きか、どこに飾るのか、予算はどのくらいか等を聞いて、その方に合う画廊を紹介できたり、買う人の立場に立ってアドバイスできるということで、アートソムリエと名乗っています。

私のアート活動としては、アートを買ってくれる人を広めたいという事と、若い作家を応援すること、その為には出来たら色々見て、これはという人がいたら買ってあげてください、ということです。

画廊廻りはなかなかやりにくいですが、美術館に行く人は多いです。日本は世界で有数の美術館入場数が多い国です。日本人は美術館大好きな国民ですが、自宅に本物の絵がある家がどれだけあるかという、ほとんどないと思います。絵を買うのはお金持ちの家と思い、私たちは美術館に行ってみてくればいいというのが普通だと思います。でも、美術館で絵を見るのと、画廊で見て実際に買ったりするのでは全く違うことだと思っています。

美術館には評価が定まった絵が展示されていて知識教養の世界観ですが、無名な作家や若い作家の作品を見て買うということは全然違うことです。画廊を廻っているうちに自分が意外なものが好きだったり、自己発見みたいなことが体験できます。

実は銀座の私の隠れ家に20点くらい絵がかけてあります。その絵には作家名もタイトルも何もかいてありません。子どもが入ってくると、この絵こわいとか、この絵好き、とか素直な言葉が出ると思うのですが、大人が入ってくると言葉が出て来ません。下手なこと言って間違えると恥ずかしいので一生懸命情報を探します。唯一わかる情報は額で、時々いたずらをして、立派な額に学生の作品を入れておくと「これすごいですね」とか言ったりします。そのくらい皆、自分で情報なしでは作品の良し悪しを判断できないです。

そういう意味ではビジネスとか特に企画的な仕事をする人には画廊廻りを勧めています。無名の作品を見て判断することは若い経営者にとっても大事なことだと思っています。

そういうわけで絵を集める楽しみについてお話しさせていただきました。ありがとうございました。



山本様 ありがとうございました。

閉会の言葉

依田会長

山本さん、卓話をありがとうございました。信頼のける山本さんに勧められたら自分に合ったいい絵が買えるかなと思います。本当にありがとうございました。例会を閉会いたします。

ニコニコBOX

お名前	メッセージ	金額
依田会長	アートソムリエ 山本冬彦様 アートコレクターの世界を知れました。勉強になりました。ありがとうございます。	1,000円
上村文明会員	山本冬彦さん 貴重なお話しありがとうございました。	1,000円
上村英生会員	山本様 貴重なお話をありがとうございました。	1,000円
木村会員	山本様 卓話 有難うございました。お話し楽しかったです。	1,000円
小池会員	山本様 卓話ありがとうございました。	1,000円
佐藤会員	卓話ありがとうございました。	1,000円
鈴木会員	山本冬彦さん お話ありがとうございました。	1,000円
寺井会員	山本様 卓話ありがとうございます。画廊へ行ってみようと思いました。	1,000円
野田会員	山本先生 卓話ありがとうございました。	1,000円
服部会員	山本冬彦様 卓話ありがとうございました。	1,000円
日暮会員	卓話ありがとうございました。	1,000円
藤本会員	山本さん 絵画の楽しみ方為になりました。	1,000円
村越会員	山本様 卓話ありがとうございました。	1,000円
		当日計 13,000円
		今期累計 253,689円

今週の表紙「手打蕎麦 旭庵」千葉県我孫子市天王台2丁目3番40号

天王台駅から徒歩約7分の場所にある、週末には行列ができるほど賑わう本格手打ちそばのお店です。店内はゆったりとした造りで、大きなテーブル席とお座敷で構成されています。メニューは季節毎の天麩羅やセットに加え、ご飯ものまで豊富にあります。細切りの端正な江戸蕎麦は喉越しも素晴らしく、店先の松もきれいに手入れされていて、老舗の風格を感じます。

ロータリーの友事務局 ホームページ www.rotary-no-tomo.jp メールは web@rotary-no-tomo.jp

環境NPOオフィス町内会が中心となって2005年に立ち上げた新たな間伐促進活動が「森の町内会」です。この活動に賛同して「印刷用紙」や「コピー用紙」を使用する企業は2009年9月現在、92社にのぼり、その環境貢献として促進される岩手県岩泉町・葛巻町・青森県三沢市での間伐は、年間30haの規模になっています。グリーン購入大賞で大賞を、山村カコンクールで林野庁長官賞を受賞しています。



この印刷物に使用している用紙は、森を元気にするための間伐と間伐材の有効活用に役立ちます。

我孫子ロータリークラブは、環境貢献として、「森の町内会」を応援します。